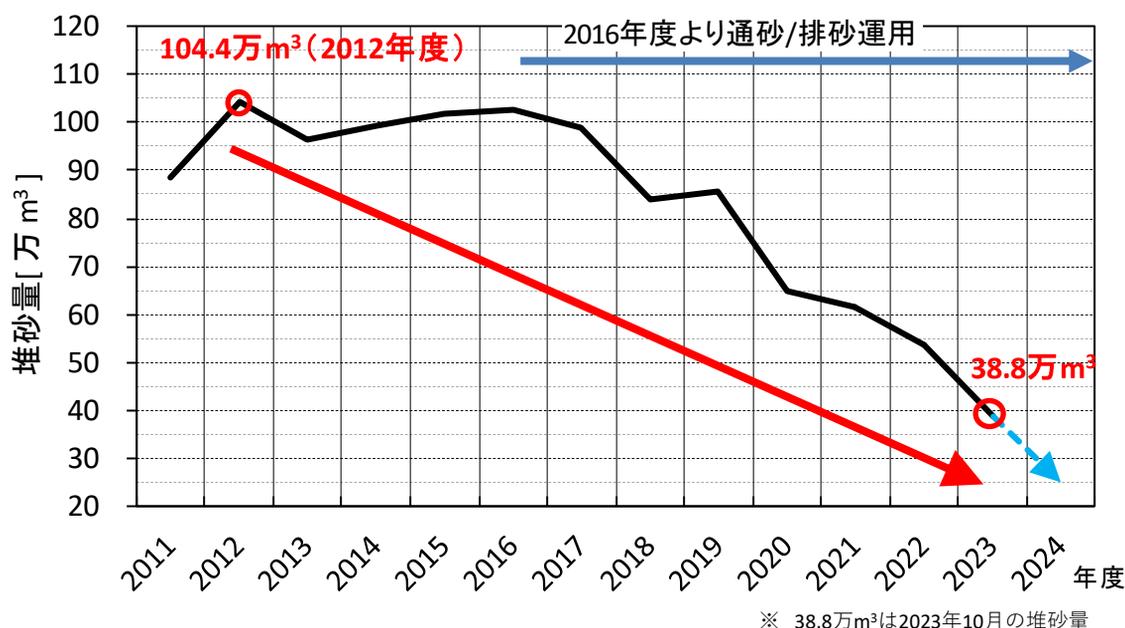


瀬戸石ダム 堆砂量および堆砂排除計画

【瀬戸石調整池の堆砂量の経年推移】



- 瀬戸石調整池の堆積土砂量は、計画的な堆積土砂排除および通砂／排砂運用により、最も多い2012年度104.4万m³に比べ、2023年10月の調査では、38.8万m³と約6割減少しています。
- 今年度(6月～9月)の通砂／排砂運用については、堆積土砂量の更なる低減を図るため、その運用水位をEL.41.9mから最大36.0m(ダム越流頂標高)に低下させて行い、3回実施しました。
- また、今年度は球磨川濁水に伴う下流利水への協力放流のため、堆砂処理に向けた調整池の水位低下開始を延期し、2月中旬から約1.3万m³の土砂排除を開始しており、3月末に完了予定です。
- 排除した土砂は、国や県の公共事業に提供する等有効活用への協力も適宜行っており、土砂仮置き場からの提供分含め、2023年度の合計は約6.7万m³を予定しています。
- 今後も土砂排除や出水時の通砂/排砂運用により堆積土砂の低減に努めてまいります。